

たつの市定例記者会見資料	
発表年月日	令和5年10月2日（月）
担当課	教育事業部歴史文化財課 （龍野歴史文化資料館）
電話	0791-63-0907

報道機関各位

**龍野歴史文化資料館企画展
「街道の風景～宿場町に伝わったもの～」を開催**

江戸時代のたつの市域は、山陽と山陰を結ぶ「因幡・美作街道」、畿内から北九州まで横断する「山陽道」、「海駅」室津から山陽道へつながる「室津道」が通る交通の要衝でした。

本展では、交通の要衝であったたつの市の歴史を、新発見の絵図と史料初公開の街道絵図と古文書を通して紹介します。

- 1 開催期間 令和5年10月21日（土）～12月10日（日）
9時～17時（入館は16時30分まで）
※休館日：月曜日、11月7日（火）
- 2 開催場所 たつの市立龍野歴史文化資料館
- 3 入館料 一般200円、65歳以上・学生100円
※11月11日（土）・12日（日）・18日（土）・19日（日）は関西文化の日につき無料
- 4 主な展示
 - (1)新発見「鶴図」「鷗鷺図」^{ろじ} 長谷川等益落款 江戸時代初期
令和4年度に東鯨崎宿の脇本陣石井家より解体修理された際に約50の絵画・書画を発見。工事業者が処分せずに保管されたのち、連絡を受けた龍野歴史文化資料館が整理を行う。
本図は、長谷川等伯の弟子の1人と考えられる「等益」落款の絵画で、これまで確認例がない、まったくの新出絵画である。
 - (2)新発見「加藤清正書状」
室津の本陣薩摩屋庶流の上田家（現在はたつの市神岡町に在住。一般のご家庭）に伝わった史料。令和4年度に所蔵者から寄贈の相談があり龍野歴史文化資料館で整理。その中の資料群から発見される。
秀吉配下の武将のうち武断派として知られる池田輝政と加藤清正は、石田三成と対立し関ヶ原合戦では東軍に属したが、二人の関係を伝える史料は少なく、加藤清正書状としては新出史料である。
懇意な関係がうかがい知れる貴重な史料。
 - (3)初公開「中国行程記」（萩博物館蔵）：播磨の山陽道を描いた絵図
萩博物館以外では初公開。
 - (4)初公開：『新宮町史』などで紹介されている絵図や古文書のうち、
街道にかかわる絵図や古文書約20点を初公開。

5 関連行事

(1)ぶらたつの「鶯宿と千本宿を巡る旅」

※募集は定員に達したため終了しました。

日時：令和5年10月28日(土) 9時40分～16時30分

内容：姫新線東鶯崎駅と千本駅周辺の歴史遺産を巡ります。

案内：義則敏彦（たつの市歴史文化財課専門員）

※姫新線利用促進・活性化同盟会連携企画

(2)記念講演会

日時：令和5年11月12日(日) 14時～15時30分

会場：中央公民館

演題：「絵巻と絵図に描かれた江戸時代の街道－毛利藩の中国行程記を中心に－」

講師：大國正美氏(神戸深江生活文化史料館長)

(3)展示解説

日時：令和5年11月19日(日) 10時～11時/14時～15時

解説者：新宮義哲(たつの市歴史文化財課長)

6 主催 たつの市教育委員会

7 協力 姫新線利用促進・活性化同盟会

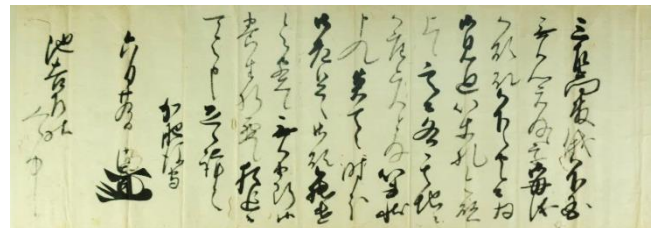
【参考】



鶯鷺図



鶴図



三左衛門殿俄之御下国
 無御心元存候所、御母儀
 御煩乱被下候由ニテ、為
 御見廻以使札令啓
 上候、定而各其地ニ
 御座候ハんと存以書状
 申入候、炎天之時分
 御老足之御煩罷遣
 令察候、無御油断御
 養生肝要候、猶追々
 可令申候、恐々謹言
 加肥後守
 清正花押
 六月廿九日
 池吉左様
 人々御中

「等益」の落款から「雲谷等益」も考えられたが、雲谷等益の使用する「等益」の印とは異なる。雲谷派も長谷川を名乗るので、判別が難しい。
 長谷川等伯の弟子と思われる画家は、現在30人余り確認されているが、「等益」は新出である。
 研究史上、本図の発見は、日本の絵画史上、狩野派に唯一対抗した天才画家「長谷川等伯」の弟子の絵が新たに発見されたと位置づけられる。

加藤清正から池吉に宛てた書状。池吉については現在調査中。輝政の弟の池田長政(橘左衛門・橘を吉に当てる)が有力。冒頭の三左衛門殿が池田輝政のことで、「見廻」「御老足之御煩」「養生」などの文字が見えるので、御母様(善応院)の体を気遣う内容と推測される。清正は、慶長8年3月頃から肥後守を名乗る。善応院は慶長9年6月29日死去とされるので、その頃の書状。慶長9年であれば死去された当日に出された書状となる。清正書状として新出の史料である。